



## 川崎市初の試み 市民が運営スタッフとして参加

### ～ 区民提案作成に向けて進む 「(仮称)新しい市民利用施設」の検討～

現在、新百合ヶ丘駅南口に位置する旧あさひ銀行グランド跡地において、昭和音楽大学及びマンション開発計画が進行していますが、あわせて「(仮称)新しい市民利用施設」の建設に向けてその内容の検討が進められています。

この施設は、現在進行している開発計画に伴い、道路・公園などの公共・公益施設整備等にかかる事業者の負担協力の一環として整備が予定されているもので、約330平方メートルの敷地と約300平方メートルの延床面積の建物です。平成19年4月のオープン予定に向けた検討スケジュールなど、施設整備に関する主な前提条件以外には、施設の内容や運営方法等に関する方針は現在未定であり検討中です。今回発足した「(仮称)新しい市民利用施設市民検討委員会」において、市民利用施設の基本計画及び主な運営方針に関する検討を行い、区民提案として市長に提出することを目指しています。

また、川崎市では、この区民提案を踏まえて基本計画を作成する予定です。

麻生まちづくり市民の会パート

ナーシップ推進部会のメンバーは、この検討委員会をサポートするために、市民側の事務局組織である「運営スタッフ」として参加しています。このような事務局も市民参加で検討運営を進める形は、川崎市では初めての試みです。



完成予想略図

詳しい内容を知りたい方は、川崎市麻生区役所ウェブサイトに掲載されています。

<http://www.city.kawasaki.jp/73/73kusei/home/siminriyousisetu/top.htm>

なお、この広報記事は、上記川崎市麻生区役所ウェブサイトに掲載されているものを要約整理したものです。



## ワークショップを重ねて使いやすい施設に

(仮称)新しい市民利用施設市民検討委員会とは？

この市民検討委員会は、(仮称)新しい市民利用施設のあり方について、区民が真に求める、使いやすい施設としていくため、施設の基本計画や運営方針に関することなどについて、区民が主体的に区民意見を集約し、検討していく組織です。

検討委員会は、学識経験者1名、各種団体推薦委員12名及び公募委員15名の合計28名で構成されております。

検討委員会では、市民の自主的な運営を推進するため、正副委員長会議に相当する「運営委員会」と、市民としての事務局組織である「運営スタッフ」という組織を設置しています。特に運営スタッフは、検討内容の決定には参加せず、検討委員会のスムーズな運営、ワークショップのコーディネート等を行い、行政と協働で市民検討委員会の事務局機能を担います。

これまでの経過

(仮称)新しい市民利用施設については、隣接して整備される昭和音楽大学の施設整備と一体的に進められる予定のため、平成19年4月の利用開始に向けて、検討及び手続きを進めていく必要があります。

平成16年12月 第1回検討委員会開催  
施設整備にいたる経過説明や検討委員会の役割、役員を選出等を行いました。

平成17年 1月 第2回検討委員会開催  
この回からワークショップ形式で検討を始めました。初回は、「新しい施設で何をしたいか、どのように使いたいか」という”思い”を話し合いました。

平成17年 2月 第3回検討委員会開催  
この回のワークショップでは、前回の「どのような

場であって欲しいか、どんなことをしたいか」という意見交換を受け、「新しい施設にはどんな機能・設備が必要か」ということを話し合いました。

平成17年 3月 第4回検討委員会開催

この回と次の回のワークショップでは、前2回の検討を受けて、「大きさを考えよう(施設と機能の面積配分)」、「部屋の配置・つながりを考えよう(プランを考える・空間構成)」という2つのテーマを検討しました。

この回は特に前半部分として、これまでに出示された具体的な施設と機能について必要な規模を検討し、床面積上限の300平方メートルに収めるようにしました。

平成17年 3月 第5回検討委員会開催

この回のワークショップでは、前回検討した具体的な施設と機能について、つながりを考えながら各部屋を配置してみました。

平成17年 4月 第6回検討委員会開催

これまでのワークショップとは異なり、グループ別の検討ではなく、全体での話し合いや、旗揚げアンケートを活用した意見交換を行い、機能や使い方に関する論点について検討しました。

なお、フォーラムに関する検討については、次回に繰り越されました。

平成17年 5月 第7回検討委員会開催

今回は、これまで検討してきた内容を報告するフォーラムの持ち方と、前回の検討を受けて整理された施設の機能と使い方に関する論点、および運営に関する論点の検討を行いました。

### (仮称)新しい市民利用施設

～区民提案素案発表フォーラムを開催～

日時：平成17年6月18日(土)13:30から16:30

場所：麻生区役所4階会議室

この施設は、区民の皆さんが使いやすいものとしていくことが求められています。このフォーラムでは、これまで検討してきた、施設に求められる目的や機能などに関する基本方針を、区民提案の素案として発表します。

フォーラムでは、素案の内容について、参加者の皆さんと検討委員が意見交換することを予定しています。また、フォーラムで出された意見を踏まえて区民提案を取りまとめる予定です。区民の皆さんの参加をお待ちしています。

# 市民の手ですすめてまーす “まちづくり”

## ～「麻生まちづくり市民の会」各部会長 今年度の活動抱負を語る～

### ● 実践部会

実践部会では、平成15年度の発足以来、麻生まちづくり市民の会要綱の13条「実践部会は、重点化されたテーマに基づいて、まちづくりの実践活動を行う。」に基づき、忠実かつ積極的に活動を続けてきました。その間、昨年度は、道路・交通小委員会を進めてきました交通不便地域の解消等を目的とするコミュニティバスの導入におきましては、インキュベーター機能を発揮し、「麻生区コミュニティバス協議会」を発足させ、80数名の会員と協働して活動を開始しました。また、同小委員会では、交通事故防止と防犯を目的とした「ヒヤリ・ハット・マップ」の作成に着手し、本年度に完成の上、関係先に配布することになっています。「真光寺長津田線拡幅整備ならびに歩道橋附設」については、岡上町内会および岡上西町会と共同して進めることになりました。

福祉・コミュニティ小委員会では、第1回コミュニティフォーラムを90数名の参加者を迎えて開催し、講師の貴重な講演会やワークショップでの議論などから本年度の「コミュニティのつながりづくり」に結びつけることができました。緑・環境小委員会の、「市民のネットワーク作り」「公園等の維持管理活動」「麻生区CO2削減活動」「山ゆりを象徴としたまちづくり」ともあわせて、平成17年度の活動は、昨年度から継続する7企画の有終の美を飾ることができるよう、努力してまいります。皆様のご理解とご支援をおねがいいたします。

(部会長 田島秀夫)

### ● パートナーシップ推進部会

1：新しい市民利用施設検討の市民サポートの意見を取りまとめるため運営スタッフとして参加。区民提案のまとめの時期が迫っています。市民が行政と協力して使い易い施設を考える上で、市民に提供する情報の選択や中立的立場を保つことで得られる信頼関係等、多方面での能力が要求されてきました

し、これからも必要とされます。

2：落書き消し活動

新百合ヶ丘駅周辺景観形成協議会が調査計画した活動に今年度も参加します。そこで得られたノウハウを基に多くの市民が参加できる仕組みを作り上げていきます。

3：麻生まちづくり学校との連携

都市マスの実現化に立ち上げた組織は市民の会活動と重複し、パートナーシップ型の問題解決が多いことから連携を考えていきます。

部会の性格上ともすると行政の下請けのように見られることも有ります。対等の立場で行政の言い分もしっかり伝え、市民が一方的に要求することなく、より良い解決法を市民が選べるようになり、信頼される団体として受け入れられるよう願っています。部会長として部員の方々が活躍できるように、縁の下の力持になって支えることができれば最高と思っています。(部会長 角井美智子)

### ● バックアップ部会

この度、バックアップ部会長に推薦された、松本でございます。新任部会長としてのご挨拶を、という事ですので一言申し述べさせていただきます。麻生まちづくり市民の会も今年3年目、仕上げの年となりました。

私達のバックアップ部会は、この麻生区で活動していらっしゃる市民活動団体、グループの皆様がお客様です。これらの団体、グループに何をしてさしあげれば良いのか？ また私達に何を期待されているのか？といった事を真摯にとらえ、サービスを提供していく事がバックアップ部会の使命だと考えています。

現状では、いろいろな制約条件のもとでサービス提供活動を行っていますが、今年度は

- 1．区民活動支援ルームの更なる展開
- 2．市民活動を行う上での場の提供
- 3．市民活動を行う上での有効な学習会提供
- 4．市民活動を行う上でのパソコン活用術

4面に続く

といった4つのテーマでサービスを提供して行こうと活動しています。皆様の目から見れば、まだまだ幼稚な活動かも知れませんが、これらの活動を通し更なる飛躍をして行きたいと考えています。

何でもかまいません、私達にこうしてほしいああしてほしいといった事を、どしどしお申し付け頂ければ幸甚です。

お互いボランティア活動なので、楽しくやりましょう。 継続は力なり！ ( 部長 松本良樹 )

### まとめの年・成果へ向けて発進！ 第3回「麻生まちづくり市民の会会員総会」開催

第3回会員総会が平成17年4月16日(土)開催されました。

第1部で、平成16年度活動報告、決算・監査報告、平成17年度活動方針(案)、予算(案)が発表され、質疑応答を経た後承認されました。また、新役員についてはまとめの大切な年度であるため役員推薦委員会から留任の要請が出され、満場一致で承認されました。

これをもって、実践部会・パートナーシップ推進部会・バックアップ部会の3部会は早速企画を実行していくこととなります。そしてこれらの部会活動を効果的に推進するための全体的な取り組みとして、昨年度検討してきた課題の内の長期課題を含め、麻生区の市民自治を推進する次期組織の方向性を検討することや、早期課題の解決策に速やかに取り組むことなども確認されました。

第2部ではそれぞれ新会員を迎えて部会が開かれ、正副部長・会計・書記・広報委員が選出されました。

このあと第3部運営委員会・役員会が開かれ、部会報告や今後の運営にまず必要な検討事項・確認事項が話し合われました。

新会員14名を加えた90名で麻生のまち

づくりの将来像を見すえながら最終年度の活動を推進していきます。

#### 平成17年度役員名簿

会長：山崎 優

広報担当副会長：碓井勝次

会計担当副会長：北島信夫

専任運営委員：曾我恵美子・竹市八郎

会計監査：内田進三・松岡秀子

実践部会長：田島秀夫

パートナーシップ推進部会長：角井美智子

バックアップ部会長：松本良樹

～市民の会の活動を知ってもらおう～

### 区民の集い 全体活動発表会

会員間の情報共有・交流を行うと共に区民の皆さんにも市民の会の活動内容を知っていただくことを目的とします

開催日時：7月9日(土)13:30～17:00

場所：麻生区役所第1会議室

方法：ポスターセッション方式

主催：麻生まちづくり市民の会

### 市民の会ホームページがスタートしました

麻生まちづくり市民の会のWebサイトを、4月27日からスタートさせました。  
<http://web-k.jp/asao-mati/asao-simin-web/>

市民の会の活動など、情報をできるだけ発信することが必要です。しかし、広報紙のみでは情報量が少なく、タイムリーな情報の掲載もできないことがあります。このWebサイトが強力なバックアップする役目を果たせるように努力します。スタートに当たっては、「Webかわさき」のお世話になりました。

### 編集後記 17年度会員総会において、委員の移動がありました。

広報委員会は各部会から選出された次の9名で行うことになりましたのでよろしくお願いたします。五十嵐、岡島、岡本、加藤、清水(俊)、中込、守田、矢沢、碓井

発行：麻生まちづくり市民の会

編集：広報委員会

連絡・問い合わせ先：麻生区役所地域振興課 電話965-5116